

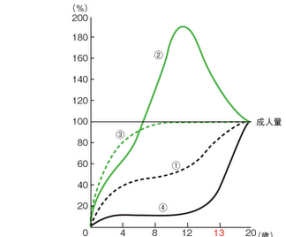
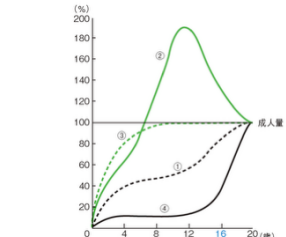


NewText 2026 正誤表						
巻	頁	項目	訂正前	訂正後	訂正日	参考 2025頁
1.必修	381	②連合印象法 ③二重同時印象法(ダブルミックス印象法)	②連合印象法 ・2種類の印象材を概形印象と精密印象の2ステップで印象採得する方法。 例) シリコーンゴム印象材のバテタイプで概形印象、インジェクションタイプで精密印象 ③二重同時印象法(ダブルミックス印象法) ・流動性の異なる2種類の印象材で同時に印象採得する方法。 例) シリコーンゴム印象材のレギュラーボディタイプとインジェクションタイプ、寒天印象材とアルジネート印象材	②連合印象法 ・種類の異なる印象材、または流動性の異なる同種の印象材で印象採得する方法。 例) シリコーンゴム印象材のバテタイプで概形印象、インジェクションタイプで精密印象、寒天印象材とアルジネート印象材 ③二重同時印象法(ダブルミックス印象法) ・流動性の異なる同種の印象材で同時に印象採得する方法。 例) シリコーンゴム印象材のレギュラーボディタイプとインジェクションタイプ	2025/8/12	375
	127	アレルギー表示が義務付けられている食品 ・特定原材料に準ずる20品目(表示を推奨)	アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン	アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、マカダミアナッツ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン ※令和5年度に「まつたけ」が削除され、「マカダミアナッツ」が追加された	2025/8/12	-
3.衛生	402	表:主として毛先を使うブラッシング方法① バスの法のブラーク除去効果	+	++	2025/7/4	-
	411	歯式: OHI-Sの舌側面 ※下顎左側1が誤植 舌側面は6-6	②OHI-S  上記のうち 6-1-6 は唇(頬)側面、 6-1-6 は舌側面	②OHI-S  上記のうち 6-1-6 は唇(頬)側面、 6-1-6 は舌側面	2025/7/3	-
	71	表: 筋圧形成 下顎のレトロモラーパッド後方、翼突下顎ヒダの機能運動	閉口	開口	2025/7/3	69
6.小児・矯正	10	図: Scammonの臓器発育曲線 横軸の数字			2025/10/1	10
	207	上顎前方牽引装置(プロトラクター) 作用する縫合部	側頭上顎縫合	側頭頰骨縫合	2025/8/13	201
7.外科・放射	32	Marfan 症候群 ■原因	常染色体優性遺伝(第15染色体長腕のFBN1遺伝子あるいはTGFB2遺伝子の変異)	常染色体優性遺伝(第15染色体長腕のFBN1遺伝子の変異) ※TGFB1遺伝子、TGFB2遺伝子などが原因遺伝子の場合にはLoeys-Dietz症候群として区別することがある。	2025/9/10	31
	33	表: 上顎骨・下顎骨の形態異常の分類 「McCune-Albright症候群」行の遺伝形式	常染色体優性	遺伝性は不明であるが、原因遺伝子はGNAS1である	2025/8/25	33
	196	表: TNM 分類とstage(病期分類)との関係 Ⅲ期-所屬(領域)リンパ節の欄 ⅣC期-所屬(領域)リンパ節の欄	N関係なく T1~T4b	NO、N1 N関係なく	2025/12/3	178
	251	表: HBV抗原・抗体の種類と意義 「判定」の最下行	過去の感染、予防接種後	予防接種後	2025/6/12	227
	269	+α ジフテリア 治療	治療: ペニシリン、マクロライド系抗菌薬投与 ワクチンによる予防(3種混合ワクチン(DPT)、4種混合ワクチン(DPT-IPV)) ※従来はジフテリア(Diphtheria)、百日咳(Pertussis)、破傷風(Tetanus)の3病原菌に対し3種混合ワクチン(DPT)の接種が行われていた。一方、2012年11月1日から定期予防接種に4種混合ワクチン(DPT-IPV)が導入された。～引き続きDPT を接種する方法がとられている。	治療: ペニシリン、マクロライド系抗菌薬投与 ワクチンによる予防 -----以降を削除----- [補足事項] 2024年度から5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)が導入されています。 ワクチン接種の詳細については、New Text2026衛生96,97頁をご確認ください。	2025/12/15	243
	327	凝固因子の検査 2) プロトロンビン時間(PT)	・外因性の血液凝固因子(第Ⅲ因子、第Ⅶ因子)の生成障害や欠乏によって延長する。	・外因性の血液凝固因子(削除)の生成障害や欠乏によって延長する。	2025/8/22	295
	454	表: 通常のCTと歯科用コーンビームCTの違い 散乱線-歯科用コーンビームCTの欄	多い(管電圧が低いため)	多い(散乱線除去用の仕組みがないため)	2025/11/26	413
8.高齢者・麻酔	103	本文タイトル(緑色の帯)	基礎訓練及び接触訓練	基礎訓練及び摂食訓練	2025/6/12	-